

西粟倉村教育大綱

【生きるを楽しみ、百年の森林とともに未来をつくる】

科学やテクノロジーの進化がめざましい中で、気候は地球規模で激しく変動し、将来の予測が困難な時代が到来している。

このような時代において、一人ひとりが幸せな人生と社会の持続的な発展を目指すために、教育の果たす役割はますます大きくなっている。

わたしたちの生活の土台をなす森林のはたらきを感じ、学びながら百年単位の持続可能な生活を実践していく中で、それぞれが豊かな個性と感性を発揮し、様々な課題に気づき、協働しながら、その解決にすすむ姿勢が求められる。

このような視点にたち、西粟倉村の教育の基本理念を表すものとしてこの大綱を策定する。そして、大綱の実現者である村民一人ひとりに問いかける。

「西粟倉村の教育への3つの問い」

- ①「人生をより豊かに楽しんで生きるためには、どのような学びや気づき、環境が必要か」
- ②「生活と自然環境の調和をどう図り、行動するのか」
- ③「時代の変化に対応しながら、主体的に課題を見だし、子どもたちが未来ある社会の担い手として成長するためには何が必要か」

本教育大綱の実施については、西粟倉村教育振興基本計画に委ねる。

本教育大綱の期間は、令和6年1月1日から令和9年度とする。ただし、この期間中においても変更しようとする場合は、総合教育会議において協議する。